



仙台七夕まつり

伊達政宗の時代から旧暦7月7日に行われていた行事を昭和の初め、新暦日付の月遅れの行事として復活。豪華けんらんな笹飾りが街中を彩る。飾りの内容は当日まで企業秘密という。商店街ごとに飾り付けの審査が行われ、金、銀、銅の各賞が決まる。(毎年8月6~8日、仙台市)

「来年は必ずここで再会を」

国内観光の大きな魅力「夏祭り」。今年は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどが中止を決定している。来年の復活を祈りつつ、応援の意味を込めて全国各地の主な夏祭りを県ごとに数回に分けて紹介する。4回目は宮城県。

紙上で見る「にっぽんの夏祭り」第4回「宮城県」

夏まつり 仙台すずめ踊り

踊りは仙台城新築移転儀式後の宴席で、石垣造りの職人が伊達政宗の前で即興で披露したのが始まりといわれる。祭りは祭典400年を記念して平成15年から開催。(毎年7月下旬、仙台市)



塩竈みなと祭

戦後の産業復興、市民の元気回復を目的に昭和23年から開催。2隻のみこしを乗せた御座船が100隻の供奉船を従え、松島湾内を巡幸する。(毎年7月第3月曜日、塩竈市)



写真提供：宮城県観光課



石巻川開き祭り

伊達政宗の命で北上川を開削した川村孫兵衛重吉扇への報恩感謝、先祖の供養にと始まった祭り。供養祭、花火大会、パレードなど、陸上と水上でさまざまな催しを行う。(毎年7月31日、8月1日、石巻市)